



ひばりぐみだより 2月

令和3年2月25日

幼保連携型認定こども園 津田このみ学園

厳しい寒さの中にも、時折暖かい日差しが感じられるようになってきました。最近、ひばりぐみではしっぽとりが密かなブームとなっています。子ども達は登園後、「しっぽとりしよう！」「いいよ」と誘い合っています。

最初のルールは“しっぽをたくさんとった人の勝ち”。ゲームが始まると、あかぐみのAさんがしっぽを取られて泣いてしまいました。あおぐみのBさんは、優しく話を聞いて「しっぽを取られて悔しかったんやな？」「もう一回頑張る？」と声をかけていました。するとAさんも気持ちを切り替えて再び参加することができました。

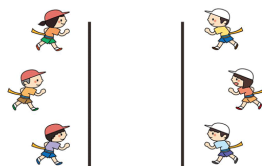
年長児が参加すると、“チーム分けでの対戦”になりました。ゲームが始まる前には必ず「がんばるぞ！エイエイオー」という掛け声が聞こえてきます。チーム戦では、友だちと協力してしっぽとりを楽しむ姿が見られます。



あかぐみさんも
お兄さんお姉さんです



あかぐみの子ども達が園庭であひるぐみと一緒に遊びました。はじめは互いに様子を伺うような姿が見られましたが、ボール投げをしたり、追いかっこをしたりするうちに、少しずつ笑顔が見られるようになってきました。追いかっこで走っている時に転んでしまったあひるぐみの子に、優しく「大丈夫？」と声をかける場面も見られました。今までに優しく接してもらったからできることだと思います。



何をして遊ぶ？



年長児がこのみだよりを見ながら「もうすぐお別れ遠足やな」と気付きました。「お別れってことは、もう終わりやな」と、Aさんがいうと「もっと遊びたい！」「畑で遊びたい」と様々な声が上がりました。集まりで話をすると、あおぐみ・あかぐみの子ども達からも「しっぽとりしたい」「公園いきたい」など、遊びたいこと、行きたいところがたくさん出てきました。

そこで、みんなで遊びたいこと、行きたいところなど考え、年長児を中心に予定に書き込んだ“ひばりぐみカレンダー”を作ることになりました。ひばりぐみも残り1カ月。子ども達が自分自身で考えて生活する日々を全力で支えていきたいと思っています。